中活　安全安心　コミュニティ

木戸・大形・東石山地区
（新潟県新潟市）

○ 計　画　期　間　平成 20 年度～平成 24 年度
○ 面　　積　1,010ｈａ
○ 交付対象事業費　2,083 百万円
○ 市人口　776,468 人

ポイント　交通機能の向上による安心安全な歩行空間確保および区の花「ポーチュラカ」を活用した安らぎ・潤いの空間創出と地域間コミュニティの醸成

地区概要　地区内の幹線道路を整備し，通過交通の円滑な処理を行い，アクセス向上を図るとともに，安心安全な歩行空間整備を目指す。また，区の花の配布，イベントの実施を通して花への関心を高めるとともに地域間交流の強化を図る。

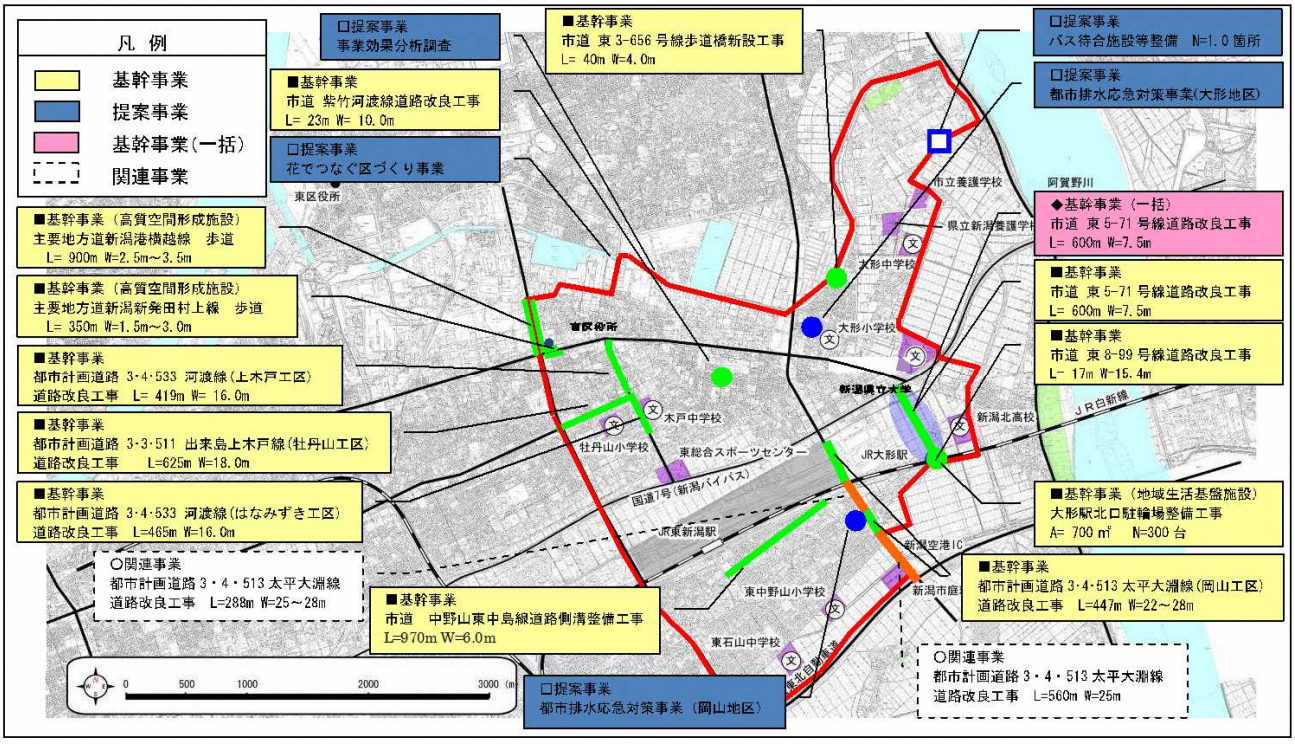
目　　標　・交通機能の向上により利便性の高い安全･安心に暮らすことのできるまちづくり。
・地域の一体感を高めやすらぎと潤いのあるまちづくり。

指　　標　通過交通の円滑な処理により交通事故の件数減少と，区の花の PR・イベント等を通しての区の花認知度向上を指標とした。

	従前値	目標値	実績値
交通事故発生件数	192 件　（H18）	180 件　（H24）	121 件　（H24）
区の花認知度	9%　（H19）	30%　（H24）	34%　（H24）
イベント参加人数	45 人　（H19）	150 人　（H24）	211 人　（H24）

事業内容　基幹事業（2,047 百万円）　→　道路（幅員 4.0m～28.0m、延長 3,606m）、駅広場（2,000 ㎡）、駐輪場（300 台）高質空間形成施設 歩道（幅員 1.5m～3.5m、延長 1,250m）

提案事業（　36 百万円）　→　花でつなぐ区づくり事業，バス待合施設等整備（1 箇所），都市排水応急対策事業(2 地区)，事業効果分析調査



完了地区　新潟県

地区の現況と課題

当地区はJR白新線により地区が2つに分断されており南北で二極化された状態であるため，地域間における交流が少ない状況にある。

幹線道路に関しては東西方向へは比較的整備されているのに対し，南北方向のアクセスはあまり整備されておらず，渋滞を避ける車が生活道路へ流入し交通事故が多発しているため，交通機能の拡充が課題となっている。また道路側溝の未整備・横断管の断面不足による浸水被害が多発しており早急な対応が望まれる。

▲　狭小な生活道路（左：整備前、右：整備後）

提案事業の特徴

バス待合施設等整備

高齢者や児童等の利用頻度が高く，天候の影響を受けやすい場所に設置されているため，バス待合施設(シェルター)の設置を行う。

花でつなぐ区づくり事業

保育園･幼稚園･小中学校等に花を提供し，生活に安らぎと潤いの空間を創出する。またイベント等を開催し住民の花への関心を高め，まちを彩る取組みを実施するとともに，地域間の交流強化を図る。

都市排水応急対策事業

下水道雨水幹線整備と連携し，道路側溝整備および横断樋管整備を行うことで，浸水被害の軽減を図る。

事業効果分析調査

都市再生整備計画に定めた事業の成果を検証するとともに，検証結果を踏まえ今後のまちづくりの方策について検討を行う。

▲　天候に影響を受けやすいバス停

（上：整備前、下：整備後）

計画策定プロセス

コミュニティ協議会の設立

政令市移行に伴い，旧東地区，旧石山地区は同じ東区となり，各地区住民が共通の目的意識を持ってまちづくりを進めていくことが不可欠であることから，各地区にコミュニティ協議会が設立された。協議会では地域の様々な問題･課題に対し取り組んでおり，解決に向け，それぞれのコミュニティ協議会間での交流の気運が急激に高まってきている。

区の花「ポーチュラカ」のPRと緑化推進

地区の公園や小中学校などに区の花「ポーチュラカ」を配布し，植栽作業を通し住民の花に対する関心を高め，住民生活に潤いや安らぎを与えている。

▲　区の花「ポーチュラカ」の植栽